

“鮮度一番！” No.216

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1 / ひとつコラム
- 1～4 / 運営委員会で話し合われたこと
- 4 / 編集後記

・・・ひとつコラム・・・

変わるものと変わらないもの

小出和子

昨年3月ごろ、私が学校を卒業してから、新潟に来るまで勤めていた事業所が、近いうちに無くなってしまうと、横浜の友達から連絡がきました。そして4月に入り、元従業員を対象に、社内見学ができる日程が決まったので、同期入社の仲間たちと会社訪問をすることにしました。

数十年ぶりに敷地に入ってみると、私が働いていた事務棟は、資料館としてそのまま残っていましたが、他の建屋は近代的なビルに変身していました。同期の仲間でも定年まで勤めた者、途中で転勤や退職した者など色々ですが、最後の見納めなので、それぞれが思い出深い場所をカメラに収めてきましたが、間もなくこれらの建物がすべて取り壊されて、更地になってしまおうと考ただけで、とても切ない気持ちになりました。それと同時に、大企業といえども、この様に移転や統廃合を繰り返して、常に変わっていかなければ、生き残れない時代になったのだらうと思いました。

この事業所はとても広く、敷地の真ん中に大きな川が流れており、土手には当時から桜の木が植えてあったので、会社訪問を終え土手に出てみると、広々とした遊歩道が整備されており、どの木も見事な大木に育っていました。数百メートル歩いてみましたが、満開の桜が覆いかぶさるように咲き誇っていました。

当然、見事な桜の下で宴会を始めました。長い年月の間に、姿かたちは大分変わってしまったけれど(特に男性は・・・)、飲んでしゃべれば、誰もが入社当時と変わらない昔のままでした。楽しい仲間と最高の時期に花見ができて、大満足の時間を過ごすことができました。

これからも人生を楽しむためには、いつまでも健康で、若々しい気持ちを持ち続けることだと思いました。



運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成29年4月5日(水)(AM9:30~11:30)

場 所 男女共同参画センター(桜木町)

春…桜に山菜、土いじり、生命の芽吹く季節に癒されながら
過ごしましょう!

5月の運営委員会は、三条マルシェの相談もあるので5月3日
(水曜日)9:30~男女共同参画センターです。どなたでもおいで
ください。

1.

「女と男のコミュニケーション講座」(3/5)のアンケート集計より

「女と男のコミュニケーション講座~自分と未来は変えられるんだ!少しの勇気があれば~」
講師 新潟経営大学市島清貴教授のアンケートの集計が出来ました。

参加人数は、36名、そのうちアンケート回答数は、27名です。

年齢は、60代以上が15名で最多でしたが、次は30代の6名がきて、迷える子育て世代が、
いかにコミュニケーションに関心を抱いているのかをうかがわせる数字となりました。

「問3 参加された動機をお知らせください。(複数可)」では、

「テーマに関心があるから13名」「実践活動に必要な知識や情報を得るため9名」「自分の
抱える問題を解決する手がかりを得るため7名」とその必要性からのものと「保育ルームがある
ため2名」がありました。どんな講座にも子育て世代が、気軽に参加するための保育ルームが
必要だなと思いました。

「問4 セミナーの内容はいかがでしたか」では

「とても良い9名」「良い13名」「普通5名」でした。

「具体的にお聞かせください」へは、14もの回答がありました。

- ・ 堅苦しくない雰囲気、分かりやすい講義でした。
- ・ 楽しかった。
- ・ 自分のための人生を歩みたいと思いました。
- ・ アドラー心理学について学べてよかった。
- ・ 自分を変えたいと思っていた時なので、今後の自分に対する「勇気づけ」が理解でき、
今日から変われる気がしました。ありがとうございました。
- ・ 家族の良いところを声に出して伝えようと思います。そして、わたし文を使おうと思
いました。
- ・ ストレスの対処法や人生の課題をどう乗り越えるかのコツを知ることができて参考にな
った。
など

「問6 今後の取り組みについて」へは、

大学の先生の講義を又聞きたい、また、参加したいの意見と合わせて、「今回のフォーラム
のチラシ、ポスターを見かけなかった。PR不足ではなかったのでしょうか?」との意見も
寄せられました。

2.

各種審議会等について

平成 28 年度第 3 回三条市男女共同参画審議会が 3 月 14 日(火)、三条市役所第二庁舎で開かれました。

議題

- (1)平成 28 年度三条市第 2 次男女共同参画推進プラン実施状況(中間報告)について
- (2)その他

10 名の内 6 名(男 2 女 4)の参加の下、開催されました。

- ・ひとひとフォーラムの告知の仕方を考えるべき。
ポスターが優しい色合いで(担当者は桜をイメージ)、街中に張られても気付かなかった。マスコミの利用を図るべき。(三条新聞は取材しても載せなかった。)
- ・男の料理教室 東・大崎・大島・栄・下田公民館で開催されました。
平日の昼間で 3~7 回シリーズで勤め人は参加できない時間帯。主催者のターゲット、男は台所に入るべからずの世代を考えていると言われました。今の若い男性は調理をすることも言われました。
余談時、男性 2 人から調理は楽しいと。すぐに女性から反論。一週間に一回とか、たまには楽しい。毎日 3 度 3 度作る者には楽しむ余裕は無いと。

丸山静江

第 2 回三条市介護保険運営協議会 地域包括支援センター運営部会 報告

平成 28 年度第 2 回三条市介護保険運営協議会地域包括支援センター運営部会が 3 月 21 日(火)、三条市役所 会議室で開かれた。

議題

- (1) 介護予防給付ケアマネジメント業務の委託について
- (2) 平成 28 年度地域包括支援センターの実施状況について
- (3) 平成 28 年度地域包括支援センターの運営評価について
- (4) 平成 29 年度地域包括支援センター運営方針について
- (5) 平成 29 年度地域包括支援センター事業計画・収支予算について

各議題について事務局から説明があり、すべて了承された。

介護の相談窓口として包括支援センターのあり方が、まだ周知されていないのではないかと懸念が出た。市民が相談しやすい工夫が求められている。

安室久恵

3.

燕三条エフエム放送(ラヂオは~と 76.8MHz) ワイワイ女性ひろば

●本放送 毎週木曜日 11:00~11:30 ●再放送 毎週水曜日 19:30~20:00

4 月のテーマ「超高齢社会を豊かに」

- ①私たちは高齢者?
- ②年齢の枠組みをこえて

③生きがい

④時代のけん引役として

メンバー：西方久子、安室久恵、野崎ミチコ、田辺とも子

日本老年学会の提言が話題になっています。{65～75歳は健康で活力ある人が多い「准高齢者」75～89歳は「高齢者」90歳以上は「超高齢者」と定義。准高齢者には仕事やボランティアへの参加を促すよう求めた。(毎日新聞記事より)} 社会からの呼ばれ方はなんであれ、高齢者への注目度は日に日に増し、それらの動向が社会に及ぼす影響の大きさと責任も感じるところです。生涯現役をめざし、気力体力の保持に賢明にとりくむ健気なメンバーが語り合いました。どうぞお聴きください。

番組は3部構成です。前半はワイワイおしゃべり、その後リクエスト曲、後半は、三条女性会議会報の記事から抜粋したものを朗読で紹介しています。こちらもお楽しみください。(田辺)

4. 三条マルシェ出店 (5/7) について

5月7日(日)開催の三条マルシェへの出店にむけて、出す品物、やり方等について話し合いました。

まず意識調査をかねたアンケートですが、A4用紙を半分にして、「年齢・性別・地域と今一番困っていることをお聞かせください」として、簡潔に協力してもらうことになりました。

安室さんの着物をリフォームして作ったコートは、展示品として、リバーシブルの小物入れ、エプロン等を並べます。その他、手の利く友人が作った雑貨、アイデア商品もありますので、眺めるだけでも楽しめると思います。

さらに、女性会議らしくということで、会報“鮮度一番！”はもちろんですが、その他にも性教育、女性への暴力等のチラシを並べることとしました。

どうぞまだ、こんなものがあるとお宝をお持ちの方、当日お手伝いをしてくださる人、野崎(080-1042-9788)まで声をお掛けください。お待ちしております。

編集後記：

年度変わりを向えピカピカの一年生が我が家の前を、少し不安げに緊張した面持ちで通っていきます。それでも通りに出ていると「おはようございます」と声を掛けてくれます。つい嬉しくなって自然と笑顔にさせられます。この朝の子どもたちとの挨拶に少し元気をもらっているこの頃です。

鮮度一番216号、どうぞ隅から隅までお読みください。(原)



編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 Tel 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>